

8. 学部・学科ポリシー／卒業要件／履修科目一覧

医療福祉学部

8-7 医療福祉・マネジメント学科

8-7 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科

8-7-1 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、社会福祉及び医療経営管理に従事する専門職として、豊かな心、コミュニケーション能力、新しい知識の追求に向けた関心や意欲を持ち、日々進化し続ける医療福祉介護分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、学びを深めるための客観的・科学的な分析・判断力を養うことが期待できる人

2. 医療福祉・マネジメント学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

高等学校時代の教科・科目等に相応した基礎知識と技能にあたる語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、コミュニケーション能力、また、人々の生活や社会の構造等を理解するための科目の修得を通して身につけた論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

医療・福祉・介護分野における新しい知識を学ぶための積極的な意欲を有し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、学修で得た知識・技能をもとにした客観的な思考力及び理解力、筋道を立てて科学的に考えることができる分析力及び判断力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、社会福祉及び医療経営管理の専門職として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、地域とのつながりを大切に考えることができ、医療・福祉・介護分野の発展に貢献したいという強い意志を持ち、積極的に自ら研鑽し、また相手の立場に立って物事を考え多職種と協調的に連携し協働する態度を身につけていること。

8-7-2 ディプロマ・ポリシー

医療福祉・マネジメント学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、「共に生きる社会」を実現するための社会的責任観、倫理観を身につけている。

DP2：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として必要な医学、社会福祉学、経営学等の基礎知識を身につけている。

DP3：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、対人支援と業務の遂行に係る専門知識と技術を養い、様々な人との適切な人間関係を構築することができる。

DP4：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、科学的知識に基づいた技術を身につけ、その技術を用いた適切な支援や業務の遂行を行うことができる。

DP5：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、自職種と他職種を理解し、多職種連携による効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。

DP6：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、身につけた知識や技術を統合的に使い、様々な状況に応じた効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。

DP7：医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、生涯学習の重要性を知り、よりよい支援や業務を遂行するために、新しい知識の追求や技術の研鑽に努める意欲や能力を培う。

8-7-3 カリキュラム・ポリシー

医療福祉・マネジメント学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：社会福祉学、医療経営管理学および関連諸科学の基礎および専門的知識・技術を体系的に学び、適切かつ効果的な支援および業務のあり方について理解するための科目を設定する。

CP2：社会福祉学、医療経営管理学および関連諸科学の知識・技術・専門職としての価値観を総合的に活用し、課題に応じた創造的な支援や業務の遂行を行うことのできる能力を養うための科目を設定する。

CP3：社会福祉学、医療経営管理学および関連諸科学の知識・技術を用いて、総合的な医療福祉の支援を多職種と連携して行うことのできるコミュニケーション能力や応用力を養うための科目を設定する。

CP4：社会福祉および医療経営管理の専門従事者として高い倫理観と向上心を持ち、多様な人々と協働する力、主体的に問題を解決する力、社会的責任感を養うための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-7-4 教育目標

<1 年次 (SBOs1) >

CP1：社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的教養や知識を修得する。

CP2：基礎的な知識を応用して、具体的な課題を解決する方法を考えることができる。

CP3：社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な論理的思考、コミュニケーション能力を修得する。

CP4：社会福祉および医療経営管理の専門職を志す学生として、高い倫理観と責任感、豊かな人間性を自ら主体的に学ぶことができる。

<2 年次 (SBOs2) >

CP1：社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的な専門知識・技術を修得する。

CP2：基礎的な専門知識・技術を応用して、具体的な課題を解決する基礎的な技術と能力を修得する。

CP3：社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的な課題分析力・解決力を修得する。

CP4：他の専門分野にも関心を持ち学びの幅を広げるとともに、他者と積極的に関わり協働する姿勢を持つことができる。

<3 年次 (SBOs3) >

CP1：社会福祉および医療経営管理の従事者の専門的知識・技術の実践的な活用方法を修得する。

CP2：専門知識・技術を応用して、具体的な課題を解決する実践的な技術と能力を修得する。

CP3：社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を用い、多職種と連携して具体的な解決策を検討できる。

CP4：関連職種との連携の中で、リーダーシップを発揮し、自職種の役割や責務を果たすことができる。

<4 年次 (SBOs4) >

CP1：社会福祉および医療経営管理の従事者としてより高い専門的知識・技術を自ら学び、修得する。

CP2：専門知識・技術を応用して、課題に応じた具体的な解決策を自ら創造し、実践できる。

CP3：社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を用い、多職種と連携して具体的な解決策を検討しかつ実践することができる。

CP4：社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を応用し、多様な人々と協働しつつ、創造的な実践を展開することができる。

8-7-5 コース選択について

医療福祉・マネジメント学科では、次の5つコースを選択して学修することになります。

介護福祉コース	社会福祉コース
<p>入学時選択。国家資格「介護福祉士」の資格取得を目指します。</p> <p>「介護福祉士」は、専門的知識と技術をもって、認知症や寝たきりのお年より、障害があるために日常生活を営むことが困難な方達に対して、入浴、食事、排泄等の援助を行う介護の専門職です。</p>	<p>国家資格「社会福祉士」の資格取得を目指します。</p> <p>「社会福祉士」は、身体上や精神上的の障害により、また、環境上の理由により日常生活を営むことが困難な高齢者や障害者、児童等の福祉に関する相談に応じ、助言や指導、福祉サービスの提供を行う専門職です。</p>
精神保健福祉コース	<p>5つのコース概要</p>
<p>国家資格「精神保健福祉士」の資格取得を目指します。</p> <p>「精神保健福祉士」は、保健、医療、福祉等の専門的知識及び技術をもって、こころの病を抱えている人々やその家族からの相談に乗り、地域で快適に生活できるように支援する専門職です。</p>	
診療情報管理コース	医療福祉マネジメントコース
<p>公的資格「診療情報管理士」の資格取得を目指します。</p> <p>「診療情報管理士」は、患者さんの治療内容や病状、検査記録等が書かれた診療記録（カルテ）の処理と管理を専門に行う医療事務の専門職であり、病院の安全管理や経営を行ううえで欠かせない存在です。</p>	<p>複数のマネジメントに関する公的資格の資格取得を目指します。</p> <p>医学や生活機能の知識をベースに、医事や経理、情報処理、経営の基礎、マーケティング、最先端の医療福祉動向など、医療福祉のマネジメントに不可欠な知識を修得します。</p>

- 1年次は医療、福祉、マネジメント（経営）の基礎を幅広く学び、2年次より各自の選択により4つのコース（介護福祉コースは入学時選択）のうち1つコースを選択し、それぞれの専門分野の学修をすすめます。
- コース選択の支援として、概論的な講義科目の受講はもちろんですが、必修科目である「入門ゼミ」において、それぞれの専門性や学ぶべき知識・技術、さらには職業像などを研究したり、それぞれの臨床現場を見学したりしながら、各人の関心と適性をもとに自らが選択できるように学修支援が行われます。
- 1年次後期にはコース選択に関するガイダンスを行い、これらを通して、1年修了時にコース希望票を提出することになっています（介護福祉コース所属の学生については、「社会福祉士」の国家試験を受験するか選択してください）。

医療福祉・マネジメント学科は所属コースにより、卒業要件等が異なります。

次ページ以降のコース別卒業要件、進級条件、科目履修条件、国家試験受験要件に係る指定選択科目を参照し、学科の指導に従って履修してください。

【社会福祉コース】

8-7-6 (社福) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-10 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【社会福祉コース 2023（令和5）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択	
総合教育科目	人間系		14単位以上 (10単位以上) ※1	
	社会系	3単位		
	自然・情報系	2単位		
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1		(3単位以上または 5単位以上) ※1
	保健体育系			
	小計	10単位 (11単位) ※1	14単位以上 (13単位以上または15単位以上) ※1	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	46単位以上
		学科専門基礎		
		小計	3単位	
	専門科目	51単位		
小計	54単位	46単位以上		
合計		64単位 (65単位) ※1	60単位以上 (59単位以上または61単位以上) ※1	
総計		124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-7 (社福) 進級条件

- (1) 1 学年から 2 学年への進級条件
1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。
- (2) 2 学年から 3 学年への進級条件
2 年次までの年次指定の社会福祉コース必修科目の単位をすべて修得していること。

8-7-8 (社福) 科目履修条件

(1) ソーシャルワーク実習Ⅰ

2年次前期までに開講される「社会福祉士国家試験」受験に必要な科目の単位をすべて習得していること。

(2) ソーシャルワーク実習Ⅱ

2年次後期までに開講される「社会福祉士国家試験」受験に必要な科目の単位をすべて修得していること。

(3) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-9 (社福) 国家試験受験要件に係る指定選択科目

「社会福祉士国家試験」受験希望者は、専門教育科目の下記指定選択科目を必ず履修すること。

- 「ソーシャルワーク演習Ⅳ」
- 「ソーシャルワーク実習Ⅰ」
- 「ソーシャルワーク実習Ⅱ」
- 「ソーシャルワーク実習指導」

【精神保健福祉コース】

8-7-6 (精神) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-10 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【精神保健福祉コース 2023（令和5）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択	
総合教育科目	人間系		14単位以上 (10単位以上) ※1	(3単位以上または 5単位以上) ※1
	社会系	3単位		
	自然・情報系	2単位		
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1		
	保健体育系			
	小計	10単位 (11単位) ※1	14単位以上 (13単位以上または15単位以上) ※1	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	45単位以上
		学科専門基礎		
		小計	3単位	
	専門科目	52単位		
	小計	55単位	45単位以上	
合計		65単位 (66単位) ※1	59単位以上 (58単位以上または60単位以上) ※1	
総計		124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-7 (精神) 進級条件

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 年次までの年次指定の精神保健福祉コース必修科目の単位をすべて修得していること。

8-7-8 (精神) 科目履修条件

- (1) 「メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法」
「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の単位を修得していること。
- (2) 「メンタルヘルスソーシャルワーク演習」、「メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導」
および「メンタルヘルスソーシャルワーク実習」
3年次までに開講される「精神保健福祉士国家試験」受験に必要な科目の単位をすべて
修得していること。
- (3) 日本語履修条件（留学生のみ）
「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-9 (精神) 国家試験受験要件に係る指定選択科目

- (1) 「精神保健福祉士国家試験」受験希望者は、専門教育科目の下記指定選択科目を必ず
履修すること。
 - 「メンタルヘルスソーシャルワーク演習」
 - 「メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導」
 - 「メンタルヘルスソーシャルワーク実習」
- (2) 「精神保健福祉士国家試験」の受験および「社会福祉士国家試験」の受験を希望する
者は、下記「社会福祉士国家試験」受験要件に係る指定選択科目を履修すること。
 - 「ソーシャルワーク演習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」
 - 「ソーシャルワーク実習Ⅰ」
 - 「ソーシャルワーク実習Ⅱ」
 - 「ソーシャルワーク実習指導」

ただし、「社会福祉士国家試験」受験要件に係る指定選択科目は、本コースの卒業に必要な科目ではない。

【介護福祉コース】

8-7-6 (介護) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-10 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【介護福祉コース 2023（令和5）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択必修	選択
総合教育科目	人間系	4単位	4単位以上	1単位以上 (留学生はなし) ※1
	社会系	3単位	2単位以上	
	自然・情報系	2単位	3単位以上	
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1	(3単位以上または 5単位以上) ※1	
	保健体育系			
	小計	14単位 (15単位) ※1	9単位以上 (12単位以上または14単位以上) ※1	1単位以上
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	9単位以上
		学科専門基礎		
		小計	3単位	
	専門科目	94単位		
	小計	97単位		9単位以上 (9単位以上) ※1
合計		111単位 (112単位) ※1	9単位以上 (21単位以上または23単位以上) ※1	10単位以上
総計		130単位以上 (133単位以上または135単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-7 (介護) 進級条件

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 年次までの年次指定の介護福祉士養成科目および選択必修科目（次ページ掲載）の単位をすべて修得していること。

- 介護福祉士養成科目
「こころとからだのしくみⅠ（身体）」、「こころとからだのしくみⅡ（精神）」、「介護の基本Ⅰ」、「生活支援技術Ⅰ（生活支援）」、「こころとからだのしくみⅢ（生活支援）」、「コミュニケーション技術」、「介護の基本Ⅱ」、「介護過程Ⅰ」、「障害の理解」、「生活支援技術Ⅱ」、「生活支援技術Ⅲ」、「生活支援技術Ⅳ」、「生活支援技術Ⅴ」、「介護実習Ⅰ」、「介護総合演習Ⅰ（基礎）」、「認知症の理解」、「発達と老化の理解」、「人間関係とチームケア」、「医療的ケア論Ⅰ」
- 選択必修科目（※転学部生は選択必修科目のみ進級条件の対象としない）
「コミュニケーション概論」、「人間学」、「我が国の社会福祉・医療保障政策の知識」、「統計学」、「生物学」、「国際関係論」

8-7-8（介護） 科目履修条件

- (1) 介護実習Ⅰ
「介護の基本Ⅰ（介護福祉士の職務・職業倫理等）」、「生活支援技術Ⅰ（生活支援）」の単位を修得していること。
- (2) 履修登録上限単位数
すべての学年・コースにおいて、1年間に履修登録できる単位数を50単位未満とする。ただし、介護福祉コースに所属する者のうち、「社会福祉士国家試験」を受験しようとする場合は個別に認める場合がある。
- (3) 日本語履修条件（留学生のみ）
「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-9（介護） 国家試験受験要件に係る指定選択科目

「介護福祉コース」の学生で、「社会福祉士国家試験」の受験を希望する者は、「社会福祉士国家試験」受験要件に係る指定選択科目を履修すること。

- 「ソーシャルワーク演習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」
- 「ソーシャルワーク実習Ⅱ」
- 「ソーシャルワーク実習指導」

ただし、「社会福祉士国家試験」受験要件に係る指定選択科目は、本コースの卒業に必要な科目ではない。

【診療情報管理コース】

8-7-6 (診療) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-10 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【診療情報管理コース 2023（令和5）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択	
総合 教育 科目	人間系		16単位以上 (12単位以上) ※1	
	社会系	1単位		
	自然・情報系	2単位		
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1		(3単位以上または 5単位以上) ※1
	保健体育系			
小 計		8単位 (9単位) ※1	16単位以上 (15単位以上または17単位以上) ※1	
専門 教育 科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	39単位以上
		学科専門基礎		
		小 計	3単位	
	専門科目	58単位		
小 計		61単位	39単位以上	
合 計		69単位 (70単位) ※1	55単位以上 (54単位以上または56単位以上) ※1	
総 計		124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-7 (診療) 進級条件

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 年次までの年次指定の診療情報管理コース必修科目をすべて含み、64 単位以上修得していること。

8-7-8 (診療) 科目履修条件

(1) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

【医療福祉マネジメントコース】

8-7-6 (福マ) 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-10 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【医療福祉マネジメントコース 2023（令和5）年度入学生】

授業科目の区分		最低単位数		
		必修	選択	
総合 教育 科目	人間系		16単位以上 (12単位以上) ※1	
	社会系	1単位		
	自然・情報系	2単位		
	総合系	1単位		
	外国語系	4単位 (5単位) ※1		(3単位または 5単位以上) ※1
	保健体育系			
	小 計	8単位 (9単位) ※1		16単位以上 (15単位以上または17単位以上) ※1
専門 教育 科目	専門基礎科目	学部共通	3単位	39単位以上
		学科専門基礎		
		小 計	3単位	
	専門科目	58単位		
	小 計	61単位	39単位以上	
合 計		69単位 (70単位) ※1	55単位以上 (54単位以上または56単位以上) ※1	
総 計		124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-7 (福マ) 進級条件

- (1) 1 学年から 2 学年への進級条件
1 年次の総単位数を 20 単位以上、修得していること。
- (2) 2 学年から 3 学年への進級条件
2 年次までの年次指定の医療福祉マネジメントコース必修科目をすべて含み、64 単位以上修得していること。

8-7-8 (福マ) 科目履修条件

- (1) 日本語履修条件（留学生のみ）
「8-9 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-7-10 授業科目一覧（総合教育科目：医療福祉・マネジメント学科）

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ー…履修不可

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	コース別必修					備考	
		必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント		
文学論	1 2 3 4		2	30							
演劇論	1 2 3 4		1	15							
心理学	1 2 3 4		2	30			○				
哲学	1 2 3 4		2	30							
コミュニケーション概論	1 2 3 4		2	30			●				
雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4		2	30							
人間学	1 2 3 4		2	30			●				
歴史学	1 2 3 4		2	30							
倫理学	1 2 3 4		2	30							
宗教学	1 2 3 4		2	30							
日本近現代史	1 2 3 4		2	30							
文化人類学	1 2 3 4		2	30							
教育学	1 2 3 4		2	30							
教育方法論	1 2 3 4		2	30							
死生学・死を通して生を考える・	1 2 3 4		2	30							
生きがい論	1 2 3 4		2	30			○				
法学	1 2 3 4		2	30							
日本国憲法	1 2 3 4		2	30							
法と道徳・倫理	1 2 3 4		2	30							
社会学	1 2 3 4		2	30	○	○	○				
日本政治経済論	1 2 3 4		2	30							
マスメディア論	1 2 3 4		2	30							
福祉経済学	1 2 3 4		2	30							
アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4		2	30							
国際関係論	1 2 3 4		2	30			●				
世界の経済	1 2 3 4		2	30							
国際医療福祉論	1 2 3 4		2	30							
組織運営管理論	1 2 3 4		2	30							
海外保健福祉事情	1 2 3 4		2	30							
我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1		30	○	○	○	○	○		
地球環境論	1 2 3 4		2	30							
ボランティア論	1 2 3 4		2	30							
ボランティアコーディネーター論	1 2 3 4		2	30							
手話入門	1 2 3 4		2	30							
経済の仕組み	1 2 3 4		2	30							
経済の歴史	1 2 3 4		2	30							
統計学	1 2 3 4		2	30			●				
疫学・保健医療統計学	1 2 3 4		2	30							
数学	1 2 3 4		2	30							
物理学	1 2 3 4		2	30							
化学	1 2 3 4		2	30							
生物学	1 2 3 4		2	30			●				
コンピュータの基礎	1 2 3 4		2	30							
データリテラシー	1 2 3 4	1		30	○	○	○	○	○		
医療データサイエンス I (DS 基礎)	2 3 4		1	30							
医療データサイエンス II (AI 基礎)	2 3 4		1	30							
医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報・	1 2 3 4	1		30	○	○	○	○	○		
医学／医療史	1 2 3 4		2	30							
人間工学	1 2 3 4		2	30							
大学入門講座・医療人・社会人として成長するために・	1	1		30	○	○	○	○	○		
郷土論～栃木学～	1 2 3 4		1	15							
医療福祉教養講義	1 2 3 4		1	15							
メディカルマナー入門	1 2 3 4		2	30							
総合講義一 超高齢社会で認知症と向き合う一	1 2 3 4		1	15							
総合講義(現代社会をどう見るか)	1 2 3 4		1	15							
食と人間	1 2 3 4		1	15							
人間と性	1 2 3 4		1	15							
持続可能な発展	1 2 3 4		2	30							
読書ゼミナール	1 2 3 4		1	15							
現代医療福祉事情	1 2 3 4		1	15							
ボランティア実践	1 2 3 4		1	15							

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ー…履修不可

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	コース別必選					備考
		必修	選択		社会	精神	介護	診療	メン ト	
英語講読 1(Primary)	1	1		30						
英語講読 2(Basic)	1	1		30	○	○	○	○	○	
英語講読 3(Intermediate)	2 3 4		1	30						
英語講読 4(Advanced)	2 3 4		1	30						
英語 CALL1(Primary)	1	1		30	○	○	○	○	○	
英語 CALL2(Basic)	1	1		30	○	○	○	○	○	
英語会話 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
英語会話 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
英語会話 3(Intermediate)	2 3 4		1	30						
英語会話 4(Advanced)	2 3 4		1	30						
聖書英語 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
聖書英語 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
医学英語 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
医学英語 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
英語リスニング 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
英語リスニング 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
英語ライティング 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
英語ライティング 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
英語医療通訳入門 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
英語医療通訳入門 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
資格英語 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
資格英語 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
基礎英文法 1(Primary)	1 2 3 4		1	30						
基礎英文法 2(Basic)	1 2 3 4		1	30						
上級英語会話 1(発展)	1 2 3 4		1	30						
上級英語会話 2(総合)	1 2 3 4		1	30						
フランス語入門	1 2 3 4		1	30						
フランス語基礎	1 2 3 4		1	30						
ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30						
ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30						
スペイン語入門	1 2 3 4		1	30						
スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30						
中国語入門	1 2 3 4		1	30						
中国語基礎	1 2 3 4		1	30						
韓国語入門	1 2 3 4		1	30						
韓国語基礎	1 2 3 4		1	30						
韓国語応用	1 2 3 4		1	30						
韓国語発展	1 2 3 4		1	30						
保健 体育系 健康科学理論	1 2 3 4		1	15						
健康科学実践	1 2 3 4		1	30						

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-9-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-7-10 授業科目一覧（専門教育科目：医療福祉・マネジメント学科）

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ー…履修不可

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	コース別必選					備考
		必修	選択		社会	精神	介護	診療	マネジメント	
公衆衛生学	1 2 3 4		2	30						
救急医学	1 2 3 4		1	15						
微生物と病気	1 2 3 4		2	30						
リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30						
関連職種連携論	2	2		30	○	○	○	○	○	
看護論	1		2	30						
ケアマネジメント論	1 2 3 4		1	15						
ケースワーク論	1 2 3 4		1	15						
医療管理学	1 2 3 4		2	30						
保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30						
社会福祉学	1 2 3 4		2	30						
臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30						
福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30						
関連職種連携ワーク	3	1		30	○	○	○	○	○	
関連職種連携実習	4		1	45						
リスクマネジメント論	3 4		2	30						
電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15						
エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	2 3 4		1	15						
レクリエーション概論	2 3 4		1	15						
入門ゼミ	1 2	1		30	○	○	○	○	○	
こころとからだのしくみⅠ(身体)	1 2		2	30			○	○	○	
こころとからだのしくみⅡ(精神)	1 2		2	30	-	-	○	-	-	
医学概論	1		2	30	○	○				
医療概論	1		2	30				○	○	
社会福祉の原理と政策	1 2		4	60	○	○	○			
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1		2	30	○	○				
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1		2	30	○					
介護の基本Ⅰ(介護福祉士の職務・職業倫理等)	1 2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅰ(生活支援)	1 2		2	30	-	-	○	-	-	
人間関係とチームケア	1 2		2	30	-	-	○	-	-	
医療管理総論	1		2	30				○	○	
経営学	1		4	60					○	
簿記論Ⅰ(基礎)	1		4	60					○	
臨床医学総論	1		2	30				○	○	
ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		1	30	○	○	○			
診療情報・マネジメント基礎演習	1		1	30				○	○	
簿記演習Ⅰ(基礎)	1 2		2	60						
レクリエーション指導法	1 2 3 4		4	60						
こころとからだのしくみⅢ(生活支援)	2		4	60	-	-	○	-	-	
コミュニケーション技術	2		4	60	-	-	○	-	-	
介護の基本Ⅱ(自立に向けた介護等)	2		4	60	-	-	○	-	-	
介護過程Ⅰ(介護過程の意義・展開)	2		4	60	-	-	○	-	-	
障害の理解	2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅱ(身支度・移動の介護)	2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅲ(入浴・排泄・食事の介護)	2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅳ(住環境・家事)	2		4	60	-	-	○	-	-	
生活支援技術Ⅴ(睡眠・終末期の介護)	2		2	30	-	-	○	-	-	
医療的ケア論Ⅰ	2		1	15	-	-	○	-	-	
介護実習Ⅰ(多様な施設における実習)	2 3		2	90	-	-	○	-	-	
介護総合演習Ⅰ(基礎)	2 3		2	60	-	-	○	-	-	
医療福祉関連法規	2		2	30					○	
医療管理各論Ⅰ(病院管理)	2		2	30				○		
医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)	2		2	30				○		
医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	2		2	30				○		
保健医療情報学	2		2	30				○		
医療統計Ⅰ(統計理論)	2		2	30				○		
医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	2		2	30				○		
医療情報統計演習	2 3		1	30						

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ー…履修不可

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	コース別必選					備考
		必修	選択		社会	精神	介護	診療	メン ト	
臨床医学各論 A(新生物と消化器・泌尿器系)	1 2		2	30				○		
臨床医学各論 B(精神・神経・感覚器と皮膚・筋・骨格系)	1 2		2	30				○		
臨床医学各論 C(感染症と血液・代謝・内分泌等)	2 3		2	30				○		
臨床医学各論 D(循環器・呼吸器と周産期系)	2 3		2	30				○		
ゼミナール I (基礎)	2		2	60	ー	ー	ー	○	○	
経営学演習	2		2	60	ー	ー	ー			
診療報酬請求論 I (初級)	2		2	30					○	
簿記論 II (商業簿記)	2 3		2	30						
簿記論 III (工業簿記)	2 3		2	30						
ソーシャルワーク演習 II	2		2	60	○			ー	ー	
認知症の理解	2		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
発達と老化の理解	2		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
社会保障	2 3 4		4	60	○	○				
ソーシャルワークの理論と方法 I	2 3 4		4	60	○	○				
児童・家庭福祉	2 3 4		2	30	○					
子ども家庭援助論	2 3 4		2	30						
障害者福祉	2 3 4		2	30	○	○				
地域福祉と包括的支援体制	2 3 4		4	60	○	○				
高齢者福祉	2 3 4		2	30	○					
精神医学と精神医療	2 3 4		4	60		○				
現代の精神保健の課題と支援	2 3 4		4	60		○				
精神保健福祉の原理	2 3 4		4	60		○				
高齢者援助論	2 3 4		2	30						
障害者援助論	2 3 4		2	30						
心理学と心理的支援	2 3 4		2	30	○	○				
カウンセリング論	2 3 4		2	30						
医学・医療用語	1 2 3 4		2	30				○		
薬学概論	2 3 4		2	30						
医療福祉管理会計論	2 3 4		2	30					○	
医療福祉財務会計論	2 3 4		2	30					○	
会計学	2 3 4		2	30					○	
経営戦略論	3 4		2	30					○	
人事労務管理論	3 4		2	30					○	
ソーシャルワーク実習指導	2 3 4		3	90	▲			ー	ー	
ソーシャルワーク実習 I	2		2	90	▲			ー	ー	
介護の基本 III (リスクマネジメント・連携等)	3		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
介護過程 II (介護過程の実践的展開)	3		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
介護過程 III (介護過程とチームアプローチ)	3		2	30	ー	ー	○	ー	ー	
介護総合演習 II (応用)	3		2	60	ー	ー	○	ー	ー	
生活支援技術 VI (形態別に応じた介護)	3		4	60	ー	ー	○	ー	ー	
医療的ケア論 II	3		2	30	ー	ー	○	ー	ー	
医療的ケア論 III	3		2	30	ー	ー	○	ー	ー	
医療的ケア論 IV (演習)	3		1	30	ー	ー	○	ー	ー	
介護実習 II (ケアプラン作成)	3		4	180	ー	ー	○	ー	ー	
介護実習 III (ケアプラン実施)	3		4	180	ー	ー	○	ー	ー	
ゼミナール II (応用)	3		2	60	ー	ー	ー	○	○	
診療情報管理 I (法令・諸規則)	3		2	30				○		
診療情報管理 II (診療情報管理士の実務)	3		2	30				○		
診療情報管理 III (DPC・医師事務作業補助・がん登録)	3		2	30				○		
診療報酬請求演習	3		1	30	ー	ー	ー			
診療報酬請求論 II (中級)	2		2	30					○	
診療報酬請求論 III (上級)	3		2	30						
病院原価計算概論	3		2	30					○	
病院施設管理論	3		2	30	ー	ー	ー	○	○	
病院管理演習 I (基礎)	3		1	30	ー	ー	ー	○	○	
病院管理演習 II (応用)	3		1	30	ー	ー	ー	○	○	
病院実習	3		4	180	ー	ー	ー	○	○	
簿記演習 II (応用)	2 3		2	60	ー	ー	ー			

専門教育科目

専門

○…必修 ●… 選択必修 ▲…指定選択 ―…履修不可

授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	コース別必選					備 考	
		必修	選択		社会	精神	介護	診療	メン ト		
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	3 4		4	60	○						
医療ソーシャルワーク論	3 4		2	30							
権利擁護を支える法制度	3 4		2	30	○	○					
貧困に対する支援	3 4		2	30	○						
刑事司法と福祉	3 4		2	30	○	○					
社会福祉調査の基礎	3 4		2	30	○	○					
福祉サービスの組織と経営	3 4		2	30	○						
メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法	3 4		4	60		○					
精神保健福祉制度論	3 4		2	30		○					
精神障害リハビリテーション論	3 4		2	30		○					
ソーシャルワーク演習Ⅲ	3 4		1	30	○			—	—		
ソーシャルワーク演習Ⅳ	3 4		1	30	▲			—	—		
ソーシャルワーク実習Ⅱ	3 4		4	180	▲			—	—		
保健医療と福祉	3 4		2	30	○						
マーケティング論	3 4		2	30					○		
マネジメント論	3 4		2	30					○		
経営分析論	3 4		2	30					○		
財務管理論	3 4		2	30					○		
国際統計分類Ⅰ(国際疾病分類)	3		2	30				○			
国際統計分類Ⅱ(分類コードの実際)	3		2	30				○			
国際統計分類Ⅰ 特別講義(基礎)	3		2	30							
国際統計分類Ⅱ 特別講義(応用)	3		2	30							
診療情報管理演習Ⅰ(基礎)	3 4		1	30	—	—	—				
診療情報管理演習Ⅱ(専門)	3 4		1	30	—	—	—				
診療情報管理演習Ⅲ(分類法)	3 4		1	30	—	—	—				
医療ソーシャルワーク実習指導	4		2	60				—	—		
医療ソーシャルワーク実習	4		4	180				—	—		
医療福祉実習指導	4		1	30				—	—		
医療福祉実習	4		2	90				—	—		
介護福祉特別講義Ⅰ	4		2	30				—	—		
介護福祉特別講義Ⅱ	4		2	30				—	—		
介護福祉特別講義Ⅲ	4		2	30				—	—		
社会福祉特別講義Ⅰ(人と社会)	4		2	30				—	—		
社会福祉特別講義Ⅱ(相談援助)	4		2	30				—	—		
社会福祉特別講義Ⅲ(地域福祉)	4		2	30				—	—		
社会福祉特別講義Ⅳ(福祉とサービスの知識)	4		2	30				—	—		
社会福祉特別講義Ⅴ(関連サービスの知識)	4		2	30				—	—		
メンタルヘルスソーシャルワーク演習	4		3	90		▲		—	—		
メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導	4		3	90		▲					
メンタルヘルスソーシャルワーク実習 A	4		4	180		▲		—	—	SW 実習ⅠⅡの履修者は	
メンタルヘルスソーシャルワーク実習 B	4		5	225		▲		—	—	A, それ以外はBを選択	
精神保健福祉特別講義Ⅰ(基礎)	4		2	30				—	—		
精神保健福祉特別講義Ⅱ(応用)	4		2	30				—	—		
医療マネジメント特別講義Ⅰ(基礎)	4		1	30	—	—	—				
医療マネジメント特別講義Ⅱ(応用)	4		1	30	—	—	—				
卒業研究	4		4	180				○	○		

専門教育科目

専門

医療福祉・マネジメント学科DP-教育目標カリキュラムマップ(2023年度以降入学生版)

		ディプロマ・ポリシー(DP)							
		[DP1]	[DP2]	[DP3]	[DP4]	[DP5]	[DP6]	[DP7]	
		医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、「共に生きる社会」を実現するための社会的責任感、倫理観を身につけている。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として必要な医学、社会福祉学、経営学等の基礎知識を身につけている。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、科学的知識に基づいた技術を専門知識と技術を使い、様々な人との適切な人間関係を構築することができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、科学的知識に基づいた技術を身につけ、その技術を用いた適切な支援や業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、自職種と他職種を理解し、多職種連携による効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、身につけた知識や技術を統合的に用い、様々な状況に応じた効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を担う者として、生涯学習の重要性を知り、よりよい支援や業務を遂行するために、新しい知識の追求や技術の研鑽に努める意欲や能力を培う。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達目標・SBOs)	1 年 次	[SBOs1/CP1] ① 社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的教養や知識を修得する	[DP1/SBOs1/CP1] 生きがい論(介) 英語講読1・2、英語CALL1・2 文学論、演劇論、哲学、道徳と倫理 歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、海外保健福祉事情、地球環境論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史、医学/医療史、人間工学 福祉論～新木学～、医療福祉教養講義、メディカルマナー入門 総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う、総合講義(現代社会をどう見るか) 食と人間、人間と性、持続可能な発展、読書ゼミナール、現代医療福祉事情、ボランティア実践 【総合教育科目(外国語系)】 健康科学理論、健康科学実践 レクリエーション指導法	[DP2/SBOs1/CP1] 臨床医学総論(診)(マ) 医療管理総論(診)(マ) 臨床医学各論A・B(診) 医学-医療用語(診) 経営学(マ) 簿記論I(マ) 我が国の社会福祉-医療保障政策の知識 データテラシー 疫学-保健医療統計学、数学 物理学、化学 社会福祉学 保健医療福祉制度論 医療管理学 微生物と病気の ケアマネジメント論 ケースワーク論 臨床心理学概論 公衆衛生学	[DP3/SBOs1/CP1]	[DP4/SBOs1/CP1] 簿記演習I	[DP5/SBOs1/CP1] リハビリテーション概論 福祉支援工学概論 看護論	[DP6/SBOs1/CP1]	[DP7/SBOs1/CP1]
	[SBOs1/CP2] ② 基礎的な知識を応用して、具体的な課題を解決する方法を考えることができる	[DP1/SBOs1/CP2] 入門ゼミ	[DP2/SBOs1/CP2] 医療データサイエンスI(DS基礎) 医療データサイエンスII(AI基礎)	[DP3/SBOs1/CP2]	[DP4/SBOs1/CP2]	[DP5/SBOs1/CP2]	[DP6/SBOs1/CP2]	[DP7/SBOs1/CP2]	
	[SBOs1/CP3] ③ 社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な論理的思考、コミュニケーション能力を修得する	[DP1/SBOs1/CP3]	[DP2/SBOs1/CP3]	[DP3/SBOs1/CP3]	[DP4/SBOs1/CP3] 生活支援技術I(介) ソーシャルワーク演習I(社)(精)(介) 診療情報・マネジメント基礎演習(診)(マ)	[DP5/SBOs1/CP3]	[DP6/SBOs1/CP3]	[DP7/SBOs1/CP3]	
	[SBOs1/CP4] ④ 社会福祉および医療経営管理の専門職を志す学生として、高い倫理観と責任感、豊かな人間性を自ら主体的に学ぶことができる	[DP1/SBOs1/CP4] 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために 医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報- 【介護福祉コース選択必修科目】 人間学	[DP2/SBOs1/CP4] 心理学(介) コンピュータの基礎 医療概論(診)(マ) 【介護福祉コース選択必修科目】 ソーシャルワーク概論、国際関係論、統計学、生物学	[DP3/SBOs1/CP4] ここからだのしくみI(介)(診)(マ) ここからだのしくみII(介) 介護の基本I(介) 社会福祉の原理と政策(社)(精)(介) ソーシャルワークの基礎と専門職I(社)(精) ソーシャルワークの基礎と専門職II(社) 医学概論(社)(精) 社会学(社)(精)(介)	[DP4/SBOs1/CP4]	[DP5/SBOs1/CP4]	[DP6/SBOs1/CP4]	[DP7/SBOs1/CP4]	
	2 年 次	[SBOs2/CP1] ① 社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的な専門知識・技術を修得する	[DP1/SBOs2/CP1] 英語講読3・4、英語会話3・4	[DP2/SBOs2/CP1] 医療福祉関連法規(マ) 医療管理各論I・II・III(診) 保健医療情報学(診) 医療統計I・II(診) 臨床医学各論C・D(診) 診療報酬請求論I・II(マ) 医療福祉管理会計論(マ) 医療福祉財務会計論(マ) 会計学(マ) 薬学概論 簿記論II・III 救急医学 カウンセリング論	[DP3/SBOs2/CP1] 障害の理解(介) 認知症の理解(介) 発達と老化の理解(介) 人間関係とチームケア(介) ここからだのしくみIII(介) 介護の基本II(介) 介護過程I(介) ソーシャルワークの理論と方法I(社)(精) 社会保障(社)(精) 地域福祉と包括的支援体制(社)(精) 高齢者福祉(社) 児童・家庭福祉(社) 障害者福祉(社)(精) 心理学と心理的支援(社)(精) 精神医学と精神医療(精) 現代の精神保健の課題と支援(精) 精神保健福祉の原理(精) 高齢者援助論 子ども家庭援助論 障害者援助論	[DP4/SBOs2/CP1] 医療情報統計演習 経営学演習 簿記演習II	[DP5/SBOs2/CP1] 電子カルテシステム入門	[DP6/SBOs2/CP1]	[DP7/SBOs2/CP1]
	[SBOs2/CP2] ② 基礎的な専門知識・技術を応用して、具体的な課題を解決する基礎的な技術と能力を修得する	[DP1/SBOs2/CP2]	[DP2/SBOs2/CP2]	[DP3/SBOs2/CP2]	[DP4/SBOs2/CP2] コミュニケーション技術(介) 介護総合演習I(介) 生活支援技術II(介) 生活支援技術III(介) 生活支援技術IV(介) 生活支援技術V(介) 医療的ケア論I(介) ソーシャルワーク演習II(社) エビデンスベースドプラクティス(研究と文献) レクリエーション概論	[DP5/SBOs2/CP2]	[DP6/SBOs2/CP2]	[DP7/SBOs2/CP2]	
	[SBOs2/CP3] ③ 社会福祉および医療経営管理の従事者に必要な基礎的な課題分析力・解決力を修得する	[DP1/SBOs2/CP3]	[DP2/SBOs2/CP3]	[DP3/SBOs2/CP3] ゼミナールI(診)(マ)	[DP4/SBOs2/CP3]	[DP5/SBOs2/CP3]	[DP6/SBOs2/CP3] 【社会福祉士資格指定選択科目】 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習I	[DP7/SBOs2/CP3]	
	[SBOs2/CP4] ④ 他の専門分野にも関心を持ち学びの幅を広げるとともに、他者と積極的に関わり協働する姿勢を持つことができる	[DP1/SBOs2/CP4]	[DP2/SBOs2/CP4]	[DP3/SBOs2/CP4]	[DP4/SBOs2/CP4]	[DP5/SBOs2/CP4] 関連職種連携論	[DP6/SBOs2/CP4]	[DP7/SBOs2/CP4]	

		ディプロマ・ポリシー (DP)							
		[DP1]	[DP2]	[DP3]	[DP4]	[DP5]	[DP6]	[DP7]	
		医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、「共に生きる社会」を実現するための社会的責任観、倫理観を身につけている。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として必要な医学、社会福祉学、経営学等の基礎知識を身につけている。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、対人支援と業務の遂行に係る専門知識と技術を養い、様々な人との適切な人間関係を構築することができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、科学的知識に基づいた技術を身に付け、その技術を用いた適切な支援や業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、自職種と他職種を理解し、多職種連携による効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、身につけた知識や技術を統合的に用い、様々な状況に応じた効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。	医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、生涯学習の重要性を知り、よりよい支援や業務を遂行するために、新しい知識の追求や技術の研鑽に努める意欲や能力を培う。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達目標・SBOs)	3 年 次	【SBOs3/CP1】 ① 社会福祉および医療経営管理の従事者の専門知識・技術の実践的な活用方法を修得する	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】 経営戦略論(マ) 人事労務管理論(マ) 診療情報管理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(診) 国際統計分類Ⅰ・Ⅱ(診) 病院原価計算概論(マ) マーケティング論(マ) マネジメント論(マ) 経営分析論(マ) 財務管理論 リスクマネジメント論 診療報酬請求論Ⅲ	【DP3/SBOs3/CP1】 介護の基本Ⅲ(介) 介護過程Ⅱ(介) 介護過程Ⅲ(介) ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(社) 貧困に対する支援(社) 権利擁護を支える法制度(社)(精) 福祉サービスの組織と経営(社) 保健医療と福祉(社) 刑事司法と福祉(社)(精) 社会福祉調査の基礎(社)(精) メンタルヘルスソーシャルワークの理論と方法(精) 精神保健福祉制度論(精) 精神障害リハビリテーション論(精) 医療ソーシャルワーク論	【DP4/SBOs3/CP1】 診療報酬請求演習 国際統計分類Ⅰ特別講義 国際統計分類Ⅱ特別講義 診療情報管理演習Ⅰ 診療情報管理演習Ⅱ 診療情報管理演習Ⅲ	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】	【DP7/SBOs3/CP1】
	② 専門知識・技術を応用して、具体的な課題を解決する実践的な技術と能力を修得する	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】	【DP4/SBOs3/CP2】 生活支援技術Ⅵ(介) 介護総合演習Ⅱ(介) 医療的ケア論Ⅱ(介) 医療的ケア論Ⅲ(介) 医療的ケア論Ⅳ(介) ソーシャルワーク演習Ⅲ(社) 【社会福祉士資格指定選択科目】 ソーシャルワーク演習Ⅳ	【DP5/SBOs3/CP2】	【DP6/SBOs3/CP2】 病院施設管理論(診)(マ)	【DP7/SBOs3/CP2】	
	③ 社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を用い、多職種と連携して具体的な解決策を検討できる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】	【DP4/SBOs3/CP3】 ゼミナールⅡ(診)(マ)	【DP5/SBOs3/CP3】	【DP6/SBOs3/CP3】 介護実習Ⅱ(介) 介護実習Ⅲ(介) 病院管理演習Ⅰ(基礎)(診)(マ) 病院管理演習Ⅱ(応用)(診)(マ) 病院実習(診)(マ) 【社会福祉士資格指定選択科目】 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習Ⅱ	【DP7/SBOs3/CP3】	
	④ 関連職種との連携の中で、リーダーシップを発揮し、自職種の役割や責務を果たすことができる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】	【DP5/SBOs3/CP4】 関連職種連携ワーク	【DP6/SBOs3/CP4】	【DP7/SBOs3/CP4】	
4 年 次	① 社会福祉および医療経営管理の従事者としてより高い専門知識・技術を自ら学び、修得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】 【精神保健福祉士資格指定選択科目】 メンタルヘルスソーシャルワーク演習	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】	【DP7/SBOs4/CP1】 介護福祉特別講義Ⅰ 介護福祉特別講義Ⅱ 介護福祉特別講義Ⅲ 社会福祉特別講義Ⅰ 社会福祉特別講義Ⅱ 社会福祉特別講義Ⅲ 社会福祉特別講義Ⅳ 社会福祉特別講義Ⅴ 精神保健福祉特別講義Ⅰ 精神保健福祉特別講義Ⅱ 医療マネジメント特別講義Ⅰ(基礎) 医療マネジメント特別講義Ⅱ(応用)	
	② 専門知識・技術を応用して、課題に応じた具体的な解決策を自ら創造し、実践できる	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】	【DP5/SBOs4/CP2】	【DP6/SBOs4/CP2】	【DP7/SBOs4/CP2】	
	③ 社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を用い、多職種と連携して具体的な解決策を検討し実践することができる	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】 関連職種連携実習	【DP6/SBOs4/CP3】 【精神保健福祉士資格指定選択科目】 メンタルヘルスソーシャルワーク実習指導 メンタルヘルスソーシャルワーク実習A・B 医療福祉実習指導 医療福祉実習 医療ソーシャルワーク実習指導 医療ソーシャルワーク実習	【DP7/SBOs4/CP3】	
	④ 社会福祉および医療経営管理の専門知識・技術を応用し、多様な人々と協働しつつ、創造的な実践を展開することができる	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】	【DP6/SBOs4/CP4】	【DP7/SBOs4/CP4】 卒業研究(診)(マ)	

医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科 履修系統図（令和5年度入学生から）

ディプロマ・ポリシー

- 医療福祉・マネジメント学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。
- DP1: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、「共に生きる社会」を実現するための社会的責任観、倫理観を身につけている。
 - DP2: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として必要な医学、社会福祉学、経営学等の基礎知識を身につけている。
 - DP3: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、対人支援と業務の遂行に係る専門知識と技術を養い、様々な人との適切な人間関係を構築することができる。
 - DP4: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、科学的知識に基づいた技術を身につけ、その技術を用いた適切な支援や業務の遂行を行うことができる。
 - DP5: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、自職種と他職種を理解し、多職種連携による効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。
 - DP6: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、身につけた知識や技術を統合的に用い、様々な状況に応じた効果的な支援と業務の遂行を行うことができる。
 - DP7: 医療福祉の現場に従事する社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・診療情報管理士・医療事務職等を目指す者として、生涯学習の重要性を知り、よりよい支援や業務を遂行するために、新しい知識の追求や技術の研鑽に努める意欲や能力を培う。

カリキュラム・ポリシー

- 医療福祉・マネジメント学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。
- CP1: 社会福祉学、医療経営管理學および関連諸科学の基礎および専門的知識・技術を体系的に学び、適切かつ効果的な支援および業務のあり方について理解するための科目を設定する。
 - CP2: 社会福祉学、医療経営管理學および関連諸科学の知識・技術・専門職としての価値観を総合的に活用し、課題に応じた創造的な支援や業務の遂行を行うことのできる能力を養うための科目を設定する。
 - CP3: 社会福祉学、医療経営管理學および関連諸科学の知識・技術を用いて、総合的な医療福祉の支援を多職種と連携して行うことのできるコミュニケーション能力や応用力を養うための科目を設定する。
 - CP4: 社会福祉および医療経営管理の専門従事者として高い倫理観と向上心を持ち、多様な人々と協働する力、主体的に問題を解決する力、社会的責任感を養うための科目を設定する。
- 学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学習到達度を評価して判断する。

分野・領域	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文科学系	心理学(介) コミュニケーション概論(介) 生きがい論(介)	医療必修-医療の倫理とプロ意識-医療情報-人間学(介) 統計学(介)						
社会科学系	社会福祉学 保健医療福祉制度論 医療管理論 社会学(介・社・精)	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識 国際関係論(介)						
自然科学系	生物学(介)	微生物と病気						
情報科学系	データテラシー	コンピュータの基礎	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	医療データサイエンスⅡ(AI基礎) 電子カルテシステム入門				
医学系	リハビリテーション概論 福祉支援工学概論 ケアマネジメント論 ケースワーク論 臨床心理学概論	看護論 公衆衛生学	救急医学	関連職種連携論	リスクマネジメント論 関連職種連携ワーク		関連職種連携実習	
外国語系	英語講義1(Primary) 英語CALL1(Primary)	英語講義2(Basic) 英語CALL2(Basic)						
その他	大学入門講座-新入生・在学学生として履修するためのレクリエーション指導法	レクリエーション指導法		エビデンスベーストプラクティス(研究と文献) レクリエーション概論				
共通領域	入門ゼミ	ソーシャルワーク演習Ⅰ 診療情報・マネジメント基礎演習					卒業研究 卒業研究	卒業研究 卒業研究
介護福祉領域	こことからのしくみⅠ 介護の基本Ⅰ	こことからのしくみⅡ 介護の基本Ⅰ 生活支援技術Ⅰ	こことからのしくみⅢ 介護の基本Ⅱ 生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 生活支援技術Ⅳ 介護過程Ⅰ	こことからのしくみⅣ 介護の基本Ⅲ 生活支援技術Ⅴ 介護過程Ⅱ 医療的ケア論Ⅰ	介護の基本Ⅲ 介護過程Ⅱ 医療的ケア論Ⅱ 医療的ケア論Ⅲ	介護の基本Ⅲ 生活支援技術Ⅵ 介護過程Ⅲ 介護過程Ⅳ 医療的ケア論Ⅳ	介護福祉特別講義Ⅰ	介護福祉特別講義Ⅱ 介護福祉特別講義Ⅲ
社会福祉・精神保健福祉領域	社会福祉の原理と政策 ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ	社会福祉の原理と政策 ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅱ 医学概論	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ 社会保障 地域福祉と包括的支援体制 高齢者福祉 児童・家庭福祉 障害者福祉 心理学と心理的支援	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習Ⅰ 社会保障 地域福祉と包括的支援体制 高齢者援助論 子ども家庭援助論 障害者援助論 カウンセリング論	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習Ⅱ 貧困に対する支援 権利擁護を支える法制度	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習Ⅲ 刑事司法と福祉	医療福祉実習指導 医療福祉実習	医療福祉実習指導 医療福祉実習 社会福祉特別講義Ⅱ 社会福祉特別講義Ⅲ 社会福祉特別講義Ⅳ 社会福祉特別講義Ⅴ
経営領域	こことからのしくみⅠ(再掲) 臨床医学総論	医療概論 臨床医学各論A 臨床医学各論B 医学・医療用語	ゼミナールⅠ 臨床医学各論C 臨床医学各論D 薬学概論	ゼミナールⅡ 医療管理各論Ⅰ 医療管理各論Ⅱ 医療管理各論Ⅲ 保健医療情報学	医療情報統計演習 医療統計Ⅰ 医療統計Ⅱ 医療福祉関連法規 診療報酬請求論Ⅱ	ゼミナールⅢ 診療情報管理演習Ⅰ 診療情報管理演習Ⅱ 診療情報管理Ⅲ 病院施設管理論 病院管理演習Ⅰ(基礎) 病院実習	診療報酬請求論Ⅲ 診療報酬請求演習	卒業研究(再掲) 医療マネジメント特別講義Ⅰ 卒業研究(再掲) 医療マネジメント特別講義Ⅱ
	医療管理総論							
	簿記論Ⅰ	簿記演習Ⅰ	簿記論Ⅱ 簿記論Ⅲ 会計学	簿記演習Ⅱ 医療福祉財務会計論 医療福祉管理会計論 経営学演習				
	経営学	経営学	経営学演習		マネジメ小論 経営分析論	病院原価計算概論 財務管理論 人事労務管理論 マーケティング論 経営戦略論		

■ 必修科目
□ 選択科目

8-9 留学生の日本語履修条件

8-9-1 開講科目一覧

科目名	配当年次	科目区分・単位数			「外国人のための日本語能力テスト」による単位認定
		必修	選択	自由	
作文・読解Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		
作文・読解Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			
作文・読解Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		BJT または EJU の結果により単位認定
文法・語彙Ⅰ（入門）	1 2 3 4 5 6		1		
文法・語彙Ⅱ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			
文法・語彙Ⅲ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		JLPT、J. TEST、日本語 NAT-TEST、EJU のいずれかの結果により単位認定
発表・討論Ⅰ（応用）	1 2 3 4 5 6	1			
発表・討論Ⅱ（完成）	1 2 3 4 5 6		1		BJT の結果により単位認定
医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6	1			
医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6	1			
日本語基礎Ⅰ（初級）	1 2			3	
日本語基礎Ⅱ（初級）	1 2			3	

注 1) 学科ごとの進級条件に従って単位修得をすること

注 2) 単位認定の基準は「D.履修ガイド」の「4-2 単位認定制度」を確認すること

BJT=ビジネス日本語能力テスト（公益財団法人日本漢字能力検定協会 主催）

EJU=日本留学試験（独立行政法人日本学生支援機構 主催）

JLPT=日本語能力試験（独立行政法人国際交流基金、公益財団法人国際教育支援協会 主催）

J.TEST=実用日本語検定（株式会社語文研究社 日本語検定協会・J.TEST 事務局 主催）

日本語 NAT-TEST（株式会社専門教育出版 日本語 NAT-TEST 運営委員会 主催）

8-9-2 日本語科目の区分

必修科目=必ず履修する科目（留学生全員が卒業要件に必要な単位）

選択科目=必要に応じて履修する科目（次ページのグループ別に卒業要件単位数が異なる）

自由科目=必要に応じて履修する科目（卒業要件に含まれない科目、単位取得は可）

8-9-3 日本語科目の履修条件

留学生は、入学時の日本語プレースメントテストの結果に基づき、下記の4グループに分類されます。グループ別に指定された選択科目の履修方法に従い、日本語科目の単位を取得しなければなりません。ただし、自由科目（日本語基礎Ⅰ、日本語基礎Ⅱ）の単位は卒業要件に含まれないので注意してください。

(1) 日本語科目を履修する留学生の全グループ共通の履修条件

必修とされている日本語科目 5 単位を、すべて履修すること。

(2) 日本語科目を履修する留学生のグループ別履修条件

グループ1

選択科目を3単位以上取得すること。

グループ2

選択科目を5単位以上取得すること。

グループ3

自由科目の日本語基礎Ⅰ（初級）を3単位取得後、選択科目を5単位以上取得すること。

グループ4

自由科目の日本語基礎Ⅰ（初級）、日本語基礎Ⅱ（初級）を6単位取得後、選択科目を5単位以上取得すること。

8-9-4 留学生用外国語系科目一覧

授業科目の名称	配当年次	単位数			時間	備 考
		必修	選択	自由		
英語講読 1 (Primary)	1		1		30	
英語講読 2 (Basic)	1 2		1		30	
英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1		30	
英語講読 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1		30	
英語 CALL1 (Primary)	1		1		30	
英語 CALL2 (Basic)	1 2		1		30	
英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6		1		30	
英語会話 4 (Advanced)	2 3 4 5 6		1		30	
聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6		1		30	
基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6		1		30	
上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4 5 6		1		30	
上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4 5 6		1		30	
フランス語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
フランス語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
スペイン語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
中国語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
中国語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語入門	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語基礎	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語応用	1 2 3 4 5 6		1		30	
韓国語発展	1 2 3 4 5 6		1		30	
作文・読解Ⅰ (入門)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目
作文・読解Ⅱ (応用)	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
作文・読解Ⅲ (完成)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目 (BJT または EJU の結果により単位認定)
文法・語彙Ⅰ (入門)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目
文法・語彙Ⅱ (応用)	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
文法・語彙Ⅲ (完成)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目 (JLPT、J.TEST、日本語 NAT-TEST、EJU のいずれかの結果により単位認定)
発表・討論Ⅰ (応用)	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
発表・討論Ⅱ (完成)	1 2 3 4 5 6		1		30	留学生用日本語科目 (BJT の結果により単位認定)
医療福祉専門漢字	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
医療福祉専門語彙	1 2 3 4 5 6	1			30	留学生用日本語科目
日本語基礎Ⅰ (初級)	1 2			3	90	留学生用日本語科目
日本語基礎Ⅱ (初級)	1 2			3	90	留学生用日本語科目

総合教育科目
外国語系

(注 1) BJT=ビジネス日本語能力テスト(公益財団法人日本漢字能力検定協会 主催)

(注 2) EJU=日本留学試験(独立行政法人日本学生支援機構 主催)

(注 3) JLPT=日本語能力試験(独立行政法人国際交流基金、公益財団法人国際教育支援協会 主催)

(注 4) J.TEST=実用日本語検定(株式会社語文研究社 日本語検定協会・J.TEST 事務局 主催)

(注 5) 日本語 NAT-TEST(株式会社専門教育出版 日本語 NAT-TEST 運営委員会 主催)

2021(令和 3)年度以降入学の留学生の外国語系科目は、このカリキュラムを適用する。

留学生の外国語系科目の履修条件は、各学科の卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件で確認すること。

8-10 アセスメント・ポリシー

本学では、教育成果を可視化し、教育改善を実施する目的で、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を踏まえて、教育課程や学生の学修成果を測定・評価する方法（アセスメント・ポリシー）を定めています。測定・評価は入学時から卒業時までとし、機関レベル（大学）・教育課程レベル（学部・学科）・科目レベル（授業科目）の3段階で多面的に実施します。

1. 機関レベル（大学）

学生の卒業率、退学率、志望進路（就職率、進学率）等から教育課程及び学修成果の達成状況を評価します。

2. 教育課程レベル（学部・学科）

学部・学科の所定の教育課程における卒業要件達成状況（単位取得状況、GPA）、資格・免許の取得状況等から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を評価します。

3. 科目レベル（授業科目）

シラバスで提示された学修目標に対する評価や授業評価アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を評価します。

○具体的な評価方法等は次の表のとおりです。

一部、各学科により実施していない項目があります。

	入学時 アドミッション・ポリシーを 満たす人材かどうかの評価	在学中 カリキュラム・ポリシーに 則って学修が進められて いるかどうかの評価	卒業時 ディプロマ・ポリシーを 満たす人材になったか どうかの評価
機関レベル (大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・調査書等の記載内容 ・面接、志願理由書等 	<ul style="list-style-type: none"> ・休学率 ・退学率 ・学修行動調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業率 ・学位授与数 ・就職率 ・進学率(主として大学院)
教育課程レベル (学部・学科)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験 ・調査書等の記載内容 ・面接、志願理由書等 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA[※] ・修得単位数 ・進級率 ・学修行動調査 ・OSCE[※] 	<ul style="list-style-type: none"> ・GPA[※] ・国家試験合格者数 ・国家試験合格率 ・資格取得率 ・進路状況 ・卒業時到達度アンケート
科目レベル (授業科目)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時基礎学力調査 ・TOEIC Bridge Test 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価(定期試験) ・学修ポートフォリオ ・授業評価アンケート ・TOEIC IP(L&R) 	

※GPA：Grade Point Average 学生が履修登録した科目1単位当たりの成績平均値。

※OSCE：Objective Structured Clinical Examination（客観的臨床能力試験）学生の模擬患者に対するインタビューや臨床の現場に必要な基本的技能の実技を、評価者が観察し、客観的に評価する試験。